

地域未来醸成委員会

委員長 外山 陽介
 副委員長 鎌田 直樹
 委員 木脇 伸博 ・ 黒木 興輔 ・ 下徳 友樹
 中原 美穂 ・ 福留 隼人 ・ 藤川 拓海
 南 曲 誠 ・ 和田 幸太郎

【サマリー】

| | |
|---------------------------------|---|
| 一般社団法人都城青年会議所 2021年度 地域未来創造グループ | |
| 地域未来醸成委員会 | |
| 委員長 外山 陽介 | |
| 設置背景 | <p>1. 育児世代であるJCメンバーが家庭や仕事と青年会議所活動を両立して活躍できる環境の構築を目指すことを目的として、日本青年会議所において育LOMの推進を掲げており、JCI都城としても育LOMを推進することでメンバーの家族の理解だけでなく、対外的にも入会しやすい環境を作る必要があります。</p> |
| | <p>2. 都城圏域には農畜産物をはじめ、固有の伝統工芸品など魅力ある地域資源が豊富にあるものの、その魅力を地域の青少年が学ぶ機会が少なく、歴史や文化を伝える機会の創出が課題となっています。また、全国的なインターネットの普及に伴い、インターネットが様々な情報収集やコミュニケーションを図る場として活用されていますが、青少年の自立的行動習慣（自立性、積極性、協調性）がインターネットの利用時間と相関関係があり、長時間ネットを続けることで、自立的行動習慣が損なわれることが問題となっており、現代社会になくはないインターネットとの共存を図りつつも自立的行動習慣の向上が必要となっています。</p> |
| | <p>3. JCI都城は2021年で創立58年を迎え、この歴史ある青年会議所活動を次世代へと継承していかなければいけません。また、コロナ禍によって、社会情勢としても様々な様式が変化しており、JCI都城としても持続可能な社会を紡いでいくための大切な場を滞りなく開催出来るよう規程を見直すと共に、メンバー一人ひとりが当事者意識を持って参加する場にしていく必要があります。</p> |
| 設置目的 | <p>1. 育LOM推進事業 JCI都城メンバーの家族との交流事業を行うとともに、育LOM推進活動を行い、対外へ発信することで会員拡大へつなげることを目的とします。</p> |
| | <p>2. 都城圏域の魅力を学ぶ事業 青少年の自立的行動習慣の向上と都城圏域の課題解決に向けた事業を行い、参加者から都城圏域の魅力やJCI都城の活動を拡散できる事業の構築を目的とします。</p> |
| | <p>3. 7月総会、選挙セミナー JCI都城メンバー一人ひとりが青年会議所の次世代を紡いでいくための重要な場であることを認識するとともに、社会情勢や時代の変化に対応できる総会の構築を目的とします。</p> |
| 活動概要 | <p>1. メンバーが家族との交流を行う中でJCI都城が行っている活動に理解を得てもらい、育LOM推進を進めることで、メンバーにとって、青年会議所活動へ活発に参加できるだけでなく、対外に対してSNS発信や会員拡大活動の中での強みとします。</p> |
| | <p>2. 都城圏域の地域資源の価値を実際に体験することで青少年の自立的行動習慣の向上や新たな発見の場とし、共に参加する保護者やメンバーの家族にとっても青年会議所の事業が地域への貢献を担っていることを実感してもらう場とします。</p> |
| | <p>3. 次年度役員を決定する7月総会の運営について、厳正かつ厳粛に行うとともに、選挙の意義や規定に対するメンバーの理解を深めることで、一人ひとりがJCI都城の一員として次年度の活動を担うリーダーを決定する重要な会であることを自覚する場とします。</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| K G I (目標達成指標) | 1. 育LOM認定条件100%達成 |
| | 2. 都城圏域の魅力を語れる青少年50名の育成 |
| | 3. J C I 都城の総会参加率例年100% |
| K S F (KGI達成のポイント・プロセス) | 1. メンバー一人ひとりが育LOMの内容を理解し、J C I 都城全体で育LOM推進に取り組むための環境を構築します。 |
| | 2. 青少年が都城の魅力を学ぶと共に、保護者やメンバーの家族も参加することで都城圏域の魅力やJ C I 都城への理解向上につなげる事業を構築します。 |
| | 3. 選挙セミナーやガルーンを利用してメンバー一人ひとりが次年度について考える事業を構築します。 |
| K P I (KGI達成のための中間指標) | 1. 育LOM認定条件60%達成 |
| | 2. 事業後のアンケート調査において「都城の魅力を周りの人に伝えたい」と回答した割合80%以上 |
| | 3. 総会、セミナー参加率100% |
| SDGs | 4: 質の高い教育をみんなに 8: 働きがいも経済成長も 11: 住み続けられるまちづくりを 17: パートナリシップで目標を達成しよう |
| 政策手法 | 1. 育LOM推進事業 ①理由: メンバーの都城青年会議所の活動へ積極的に参加することと、育児や家庭が入会への障害となることを解消するために ②手法: J C I 都城の活動を家族へ理解してもらうための例会構築と各委員会への育LOM推進を実施します。 ③行動: メンバーの青年会議所参加意欲の向上と会員拡大へつなげる取り組みを行います。 |
| | 2. 都城圏域の魅力を学ぶ事業の構築 ①理由: 青少年の自立的行動習慣の向上と保護者やメンバー家族の会議所活動への理解向上のために ②手法: 都城圏域の魅力を「体験」する事業を実施します。 ③行動: 体験を通じて、自身の自立性、積極性、協調性の向上につながる機会となるだけでなく、参加者全員が青年会議所活動に対する理解を得る機会を作ります。 |
| | 3. 7月総会、選挙セミナーの実施 ①理由: 次年度役員を決定する7月総会の運営について、厳正かつ厳粛に行うために ②手法: 選挙セミナーやガルーンを活用して選挙への理解を深める取り組みを行います。 ③行動: メンバー一人ひとりが積極的に参加する総会を行います。 |
| パートナー | 1. 公益社団法人日本青年会議所 |
| | 2. 都城市、都城市教育委員会、都城商工会議所、都城観光協会、都城農業協同組合（JA）、都城地場産業振興センター、都城弓製造業共同組合 |
| | 3. シニア会員（選挙管理委員会） |

【職務分掌】

1. 育LOM事業の実施
2. 家族交流例会の実施
3. 青少年例会の実施
4. 選挙セミナーの実施
5. 7月総会の実施
6. 宮崎ブロック J C フェスタ2021 in 小林 参加支援事業
7. 九州地区大会 参加支援事業
8. 会員拡大 [最重要]